

未来を拓く、道路整備

けんちようどうろせいさくか
問 県庁道路政策課 ☎073-441-3096

ちいき 地域をつなぐ道路網 どうろもう

● 高速道路ネットワーク

令和元年度に新宮道路が新規事業化されたことにより、近畿自動車道紀勢線が県内全線で事業着手され、紀伊半島一周高速道路の実現に向け、着々と整備が進められています。

また、渋滞による経済損失の解消や、対面通行による重大事故の防止のため、南紀田辺ICまでの4車線化の早期実現に取り組んでおり、有田ICー印南IC間が今年12月に完成する予定です。

● 構想路線の具体化

京奈和自動車道の整備(平成29年3月県内全線開通)により沿線地域では、企業立地や観光、農林水産業の振興などさまざまな効果が現れています。こうした京奈和自動車道などの整備効果をさらに波及させるため、「和歌山環状北道路」や「京奈和関空連絡道路」の具体化に取り組めます。



道路は、「ひと」や「もの」の流れを活発にし、地域を活性化するために重要な役割を担っています。県では、2025年に開催される大阪・関西万博の効果が最大限に発揮されるよう、紀伊半島一周高速道路の整備や南紀田辺ICまでの4車線化を進めています。また、大規模災害に備え、道路の整備に計画的・効率的に取り組んでいます。

● ICアクセス道路

高速道路の供用に合わせて、高速道路ICから主要道路までのアクセス道路を整備することにより、円滑な交通を確保します。

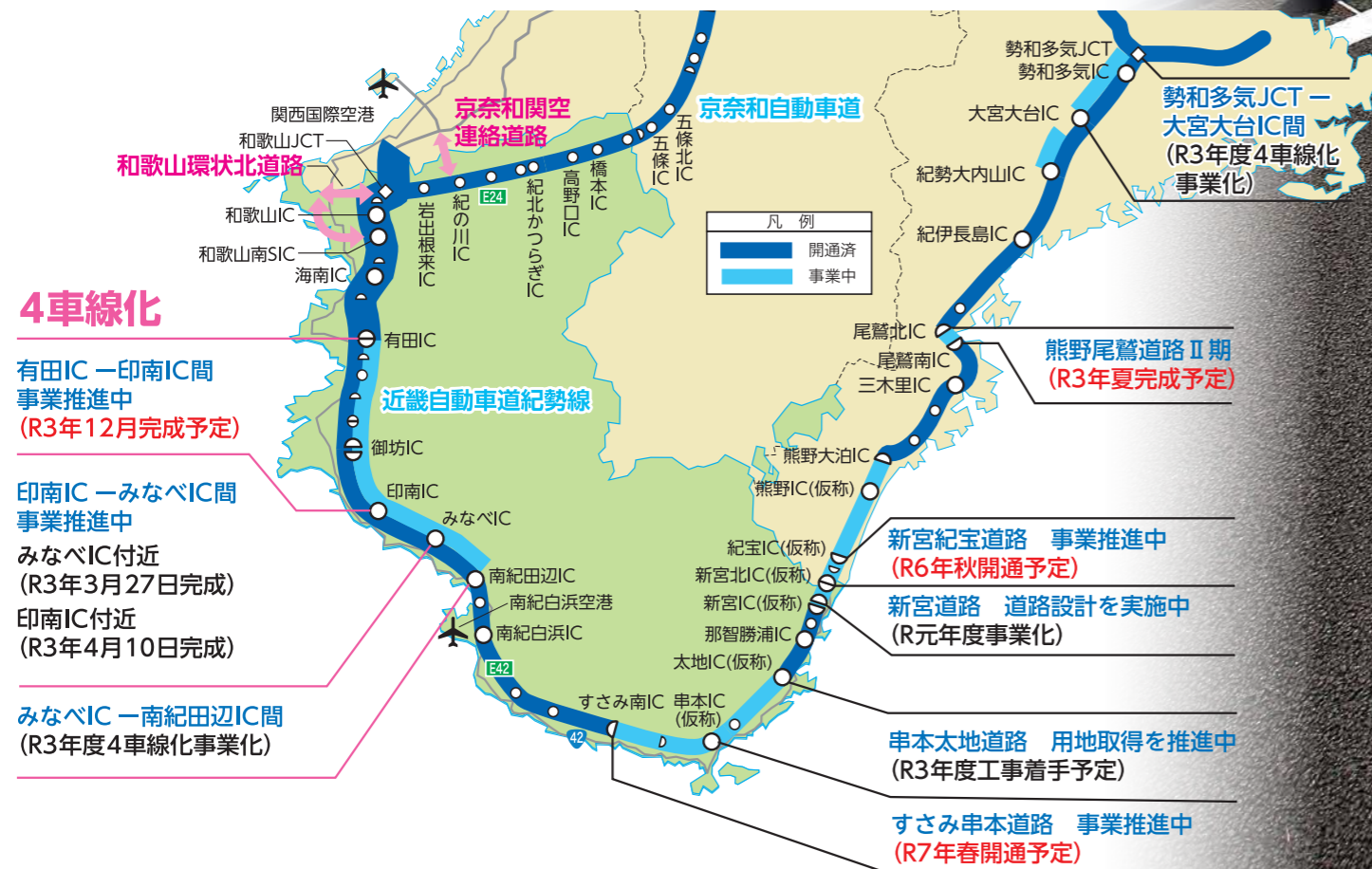
インタビュー

西日本高速道路株式会社
野本 太一 さん



高速道路の4車線化により渋滞が大幅に軽減されるだけでなく、農水産物の輸送時間が安定し作業効率が向上したり、大規模災害発生時の通行止め期間が短縮されたりする効果があると考えています。現在、有田ICー印南ICの4車線化事業について令和3年内の開通に向けて工事を進めています。1日も早い完成に向け、関係者一同、一丸となって工事を進めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

▼ 高速道路ネットワークの整備状況



阪和自動車道・湯浅御坊道路
有田ICー印南IC間4車線化
令和3年12月完成予定